

エコアクション21

# 環境経営レポート

2023年10月1日～12月31日



2024年1月30日 発行

株式会社アブソルート

# 経営レポート 目録

1. 組織の概要	P.3
2. 対象範囲	P.4
3. 環境管理体制	P.5
4. 環境経営方針	P.6
5. (基準年の環境負荷と)環境経営目標	P.7
6. 環境経営計画の内容	P.8
7. 環境経営計画、環境経営目標の実績及び環境経営計画の 取組結果とその評価	P.9
8. 環境経営の取り組みに関するアンケート・意識調査	P.10
9. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	P.11
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P.12
11. 代表者による全体の評価と見直しの結果	P.13

**(1)事業所名及び代表者氏名**

株式会社 アブソルート  
代表取締役 伊藤 永

**(2)所在地**

横浜営業所:神奈川県横浜市中区太田町 4-55 横浜馬車道ビル 9F

**(3)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先**

環境管理責任者 運営企画部 西村 連絡先 電話 045-228-8885

**(4)事業活動の内容**

医療機器類の販売・輸出入業、医療機器類の修理及びメンテナンス、  
化粧品企画・販売

**(5)事業の規模**

(2022年度)

資本金 (万円)	2,000
売上高 (百万円)	668 百万円
従業員数 (人)	21
延床面積 (m <sup>2</sup> )	539.91 m <sup>2</sup>

## (1) 認証・登録対象組織

本社：神奈川県横浜市中区太田町 6 丁目 79 番 Absolute 横濱馬車道ビル  
(登記上のため認証・登録対象外)

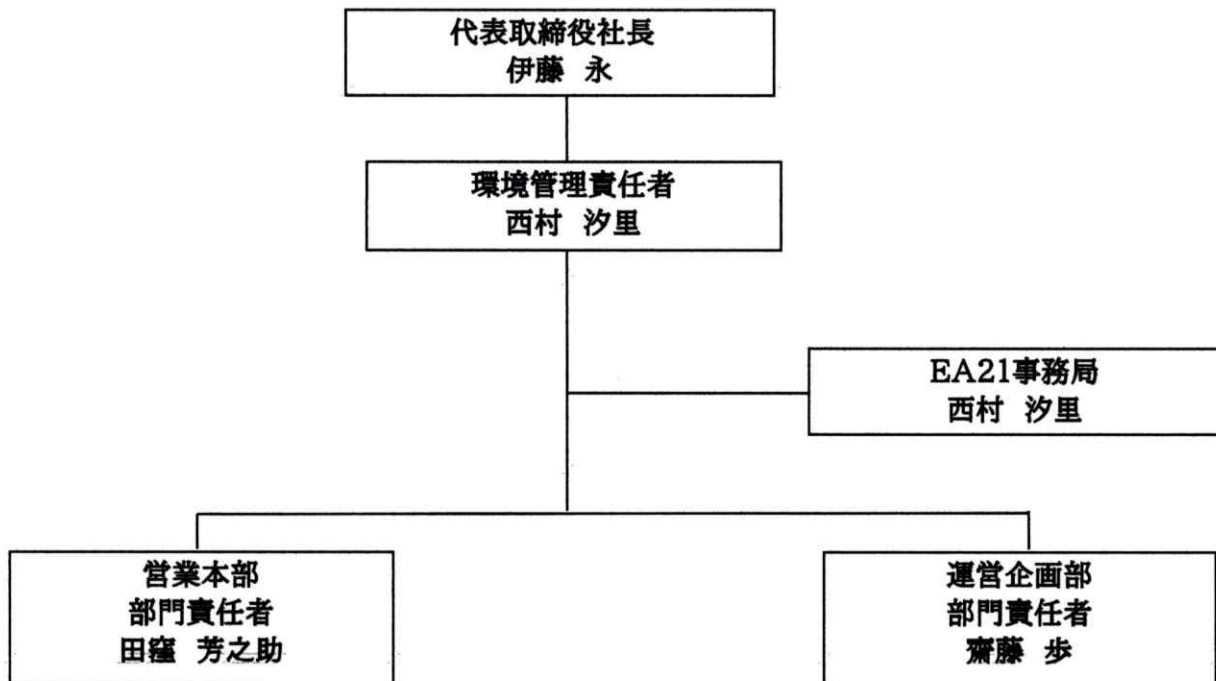
横浜営業所：神奈川県横浜市中区太田町 4-55 横浜馬車道ビル 9F (認証対象)

大阪営業所：大阪府箕面市船場東 1-15-5 箕面サウンドヒルズ 27 3F (認証対象外)

広島営業所：広島県広島市安芸区矢野西 3-27-12 (認証対象外)

## (2) 認証・登録対象活動

横浜営業所で行う全ての業務(サイト認証)



役職	責任及び権限
代表取締役社長	1、環境管理責任者の任命 2、経営における課題とチャンスの明確化 3、環境方針の制定 4、環境経営システムの実施及び管理に必要な資源の準備 5、環境経営システムの定期的見直しの実施 6、社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	1、環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2、社長への環境経営システムの実施状況報告 3、推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 4、それぞれの業務、役割に応じ、必要な教育、訓練を適切に計画、実施 5、関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6、環境関連文書及び記録の作成、整理
部門責任者	1、環境経営システムの方針、実施計画を自部門で実施、維持、継続的改善 2、環境上の緊急事態への準備及び対応(防火管理責任者)
従業員	1、環境経営方針を理解し、部門の環境経営計画に従って活動する

## 株式会社アブソルート環境経営方針

### 基本理念

株式会社アブソルートは、私たちのサービスをご利用いただくお客様をはじめとして、私たちを支えてくださる社会、一緒に働いている社員、取引先様、地域の方すべてに対し、その期待に応えるとともに、事業活動を通じて社会に貢献してゆくことを使命としています。

私たちは使命を達成するため、全社員への環境経営方針の周知と環境意識の向上を図り、事業活動を通じて温室効果ガス削減をはじめとする環境保全や省資源対策に取り組み、企業の社会的責任を果たすことで持続可能な社会の発展に貢献して参ります。

### 環境経営方針

- 1 環境経営システムを効果的に運用することで環境保全の向上に努め、システムの継続的改善を図ります。
- 2 環境関連法規、条例等を遵守し、環境汚染の未然防止に努めるとともに、次の活動に取り組み、環境負荷の低減に努めます。
  - (1) 電気、ガソリン等の省エネルギーを推進し、二酸化炭素の排出量を削減します。
  - (2) 分別を徹底し、廃棄物の削減とリサイクルによる資源化を推進します。
  - (3) 水使用量削減のため、適正使用による節水に努めます。
  - (4) 業務の効率向上を図り、省エネ、省資源化に努めます。
  - (5) 地域を意識した環境 CSR 活動を推進します。
- 3 この環境経営方針を全従業員に周知するとともに、環境教育を実施し、環境保全意識の向上に努めます。

2023年9月19日制定  
株式会社 アブソルート  
代表取締役社長 伊藤 永

環境目標	項目	基準年(実績)		目標		中期目標	
		2022年度 (通年)	22/10~ 22/12	2023年度 (通年)	23/10~ 23/12	2024年度	2025年度
		基準値	基準値	1%削減	1%削減	2%削減	3%削減
1. 二酸化炭素 排出量削減	CO2総量 Kg-CO2	32,908	7,857	32,579	7,778	32,250	31,921
①電力使用量 の削減	電力使用量 Kwh	24,886	5,119	24,637	5,068	24,388	24,139
	CO2 Kg-CO2	11,373	2,339	11,259	2,316	11,146	11,032
②ガソリン使 用量の削減	ガソリン 使用量(L)	9,282	2,378	9,189	2,354	9,096	9,004
	Kg-CO2	21,535	5,518	21,320	5,463	21,104	20,889
2一般廃棄物 排出量の削減	一般廃棄物 排出量(Kg)	記録なし	記録なし	計測	実績	実績に対して 2%削減	実績に対して 3%削減
3. 水使用量の 削減	水の使用量	記録なし	記録なし	節水活動に 努める	節水活動に 努める	節水活動に 努める	節水活動に 努める
4. 環境推進 CSR 活動の 継続	活動状況	横浜市主催の「環境絵日記」における地域企業賞 の協賛		横浜市主催の「環境絵日記」における地域企業賞 の協賛		活動継続	活動継続

※ CO2 排出量[kg-CO2]の算定に用いた排出係数は以下のとおり

①電力:0.457 kg-CO2/kWh(東京電力エナジーパートナー) ②ガソリン:2.32 kg-CO2/L

※ 当社は化学物質は扱っていない。

※ 当社はテナントで水使用量の把握が困難なため数値目標を設定しない。

当社の環境保全に向けた具体的な取組の内容を以下に示します。

## 1. 二酸化炭素排出量削減

### (1) 電気使用量の削減

- ① 不要な照明、パソコン、冷暖房のこまめな消灯による電力使用量の抑制
- ② 温度計の設置、冷暖房の温度の設定管理

### (2) ガソリン使用量の削減

- ③ 「エコドライブ 10 のすすめ」の周知および社員教育の実施
- ④ 運転者教育の実施



## 2. 廃棄物排出量の削減・業務の効率向上

- ① 廃棄物の分別の徹底
- ② コピー用紙の裏紙利用
- ③ 社内情報・社外文書のデータ化によるペーパーレス推進
- ④ 排出量の測定



## 3. 水使用量の削減

- ① 節水意識の喚起
- ② 節水に関するポスターの掲示



## 4. 環境 CSR の推進

- ③ 横浜市主催「環境絵日記」への協賛の継続
- ④ 自社主催イベントにおける参加費の一部を環境活動へ寄付



## 5. 従業員の環境意識向上

- ⑤ 年に1回、全従業員を対象に環境に関する意識調査を実施
- ⑤ 環境経営、環境保全をテーマとした従業員の教育実習



※各計画の日程及び責任者は、別紙「環境経営計画(月度表 CO2まとめ)」を参照



# 環境経営計画、環境経営目標の実績、 取組結果とその評価

○:目標達成、×:目標未達

環境活動計画	取組結果とその評価(2023年10月~2023年12月)			
	環境目標 対基準1% 削減	実績	達成 区分	環境経営計画の取組み評価
<b>1. 二酸化炭素削減</b>	7,778 kg-co2	7,129 kg-co2	○	目標達成。
<b>①電力使用量削減</b> ・冷暖房の温度の設定管理 ・消灯の徹底	5,068 kWh	6144 kWh	×	目標未達。 引っ越しの影響で、基準値の2022年の数値と比較して使用量が増えた。今後計測する現事務所の電気使用量を注視しつつ、目標達成を目指す。
<b>②ガソリン使用量削減</b> ・エコドライブの徹底 ・運転者教育の実施	2,354 L	1,869 L	○	目標達成。 引き続き、各車両に設置している「運転管理記録表」に追加したエコドライブのチェック項目に必ずチェックをさせて、従業員の意識づけを図る。
<b>2. 廃棄物排出量削減</b> ・廃棄物分別の徹底 ・排出量の測定 ・コピー用紙の裏紙使用 ・ペーパーレス化推進	計測	145 Kg	○	目標達成。 今後、両面印刷や集約印刷、裏紙利用、不要になった紙のシュレッダー利用について更に呼びかけやチェックを実施し、紙ごみの削減を図る。
<b>3. 水使用量削減</b> ・節水意識の喚起 ・節水ポスターの設置	節水活動に努める		○	目標達成。 引き続き、節水の呼びかけを行い、節水に努める。
<b>4. 環境推進 CSR 活動の継続</b> ・「環境絵日記」への協賛	活動の継続に努める		○	目標達成。 次年度も環境絵日記の協賛を継続し、さらに環境活動への寄付活動を実施する。

# 環境経営の取り組みに関する アンケート・意識調査

## 1. アンケート調査の目的

- ① 環境経営計画の各項目に関する従業員の取組意識や状況を把握する。
- ② 各項目の課題を明確にし、今後の目標や取組内容に反映する。

## 2. アンケート調査の概要

実施期間	2024年3月7日～3月11日
対象	全従業員
有効回答数	20件

## 3. アンケート集計結果

	よくできた	たまにできなかった	全くできなかった	該当しない
<b>1、電気使用量の削減</b> 不要な照明や冷暖房、使用していないPCの電源などは、こまめに消すようにこころがけた	55%	40%	5%	0%
<b>2、ガソリン使用量の削減</b> 「エコドライブ10のすすめ」のチェック項目を意識しながら運転した	15%	40%	5%	40% ※1
<b>3-①、廃棄物の削減・コピー用紙削減</b> 印刷をするとき、裏紙の利用や、両面印刷・集約印刷を利用した	55%	40%	5%	0%
<b>3-②、廃棄物の削減・ペーパーレス推進</b> Kintone等の活用により、社内・社外文書をデータ化し、積極的なペーパーレス化をした	30%	65%	5%	0%
<b>3-③、廃棄物の削減・消耗品の節約</b> 消耗品(梱包材・パンフレット・販促品など)を使うときは、まだ使えるものはむやみに捨てず、無駄にしないよう心がけた	50%	35%	5%	0%
<b>3-④、廃棄物の削減・紙類の分別</b> 不要な紙はシュレッダーし、ミックスペーパー用の処分場所に入れるなど、適切に処分をした	40%	25%	20%	15% ※2
<b>3-⑤、廃棄物の削減・資源ゴミの分別</b> プラスチック製容器包装やペットボトルなどの資源ごみを、適切に仕分けて処分した	65%	5%	15%	15% ※2
<b>4、節水活動</b> 給湯室での洗い物やお手洗いの使用時に節水を意識し、蛇口のコまめな開け閉めを心がけた	70%	5%	10%	15% ※2

※1 運転をしない従業員が該当 ※2 認定対象外の営業所に所属する従業員が該当

環境目標	環境経営目標及び環境経営計画(2024年4月～2025年3月)			
	基準値 (2022年度)	環境目標 1%削減	担当者	次年度の取組内容
1. 二酸化炭素削減	32,908 kg-co2	32,579 kg-co2	西村	
①電力使用量削減	24,886 kWh	24,637 kWh	西村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコンの温度管理</li> <li>・消灯の徹底</li> <li>・不使用機器電源 OFF の徹底</li> </ul>
②ガソリン使用量削減	9,282 L	9,189 L	益子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転者教育の実施を再度行う</li> <li>・エコドライブの徹底</li> <li>・車両の点検整備の徹底</li> <li>・効率の良い配車計画</li> </ul>
2. 廃棄物排出量削減	記録なし	計測	齋藤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排出量把握の徹底を図る。</li> <li>・コピー用紙の裏紙使用</li> <li>・分別廃棄の徹底</li> </ul>
3. 水使用量削減	節水活動に努める		西村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水表示板の設置</li> <li>・節水意識の喚起</li> </ul>
4. 環境推進 CSR 活動の継続	活動の継続に努める		西村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境絵日記2024 への協賛</li> <li>・自社主催イベントにおける参加費の一部を、地元横浜の環境保全に関する基金に充てる</li> </ul>

## 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規等は次のとおりである。

承認	確認者
	西村

適用環境関連法規等	適用される事項(施設、物質、事業活動等)	確認	確認日
廃棄物処理法	一般廃棄物の適正処理、産業廃棄物 (汚泥、金属クズ、廃プラ、廃油等) マニフェストの交付	○	2024年 1月12日
家電リサイクル法	特定家庭用機器の適正処理	○	2024年 1月12日
自動車リサイクル法	使用済自動車の引渡義務	○	2024年 1月12日
小型家電リサイクル法	使用済み小型電子機器の適正処理	○	2024年 1月12日

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟は  
ありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

## 1 二酸化炭素排出量削減

二酸化炭素排出量の削減目標は達成したが、個々の項目を見ると、電気使用削減目標は未達となった。2022年12月に事務所を引越した結果、面積・規模が拡大し、基準値とした2022年の数値と比較すると、電気使用量が明らかに増加している。また、新事務所の入っているビル設備の仕様上、セクションごとに電気を消灯するなどの細かい制御ができないことも要因の一つだと考えられる。新事務所での電気使用量のデータを計測しつつ、さらなる節電対策を講じて目標達成を目指す。

ガソリン使用量に関しては目標を達成したが、アンケート調査において、エコドライブの実施状況を調査したところ「たまにできなかった」と回答した割合が、他の調査項目よりも高くなった。今後もエコドライブの徹底と従業員教育を定期的に行い、さらなる使用量削減を目指す。

## 2 一般廃棄物排出量削減

今回の目標としていた「計測」を達成し、廃棄物の計測を継続的に行うためのルールや体制づくり、運用を行った。アンケート調査により、「ペーパーレス推進」の取り組みや意識が不足していることが明らかになったため、クラウドサービス等を利用したペーパーレス化の普及を中心に、さらなる排出物の削減に向けて取り組みを継続する。

## 3 水使用量削減

全体会議で節水の呼びかけを行い、節水表示を掲示した。今後も、アンケート調査を通じて従業員の節水意識を把握し、各従業員の意識向上につながる施策を検討・実施していく。

## 4 環境推進 CSR 活動の継続

2016年から継続している横浜市主催の「環境絵日記 2023」に、本年度も企業賞として協賛した。今回は、横浜で自転車を利用しやすくするための具体的な提案を文章と絵で表現した、境木小学校4年生の環境絵日記を「アブソルート夢みらい賞」として選出し、表彰した。今後も、環境推進 CSR 活動の幅を広げていく。

## 全体

エコアクション21のシステム構築に取り組み、3ヶ月の運用期間を経て目標の達成状況や計画の実施状況を見ると、主要な環境活動は概ね実施できた。そのため、今回の見直しにおいて環境経営方針は変更しないが、項目によっては改善の余地が残されている。

今後も、従業員が一丸となって環境改善に取り組める仕組みを構築し、計画の実施を図り、従業員一人一人の意識向上による目に見える成果につながるよう、継続的に取り組んでいく。

以上